

科目名	倫理学	担当教員	堀 雅彦 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	教養科目	選択	1年次	前期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13AB	①					

科目概要	「正義は人それぞれ?」「人は愛なしには生きられない?」など、身近に接する人生の諸モンダイを取り上げながら、倫理学の基本的な考え方(問いの立て方)を学びます。学生の皆さんには随時、自分なりの考えを記してもらい、それを紹介しながら議論を深めます(口頭での発言の機会も設けますが、発言を強いることはないので、話すのが苦手な人も恐れることはありません)。
学習目標	① 高校の「倫理」とは明確に異なる「倫理学」という学問の基本的な意味を理解する。 ② 倫理学の基本的な問題を自分なりの言葉で理解し、自己の見解を自他に伝えることができるようになる。 ③ 互いの意見にしっかりと耳を傾けることで、はじめて本当の意味で自分自身の考えを持つようになれるということ、実践を通して理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	倫理は人生の必修科目?	高校の「倫理」と大学の「倫理学」との違いなど	倫理学という学問の概要を知る。	
2	善と悪は、どう違う?	善と悪、それぞれの具体例などを、これまでの生活の中から拾い上げつつ、両者の違いを考える。	身近な問題として倫理を考える視点をもうける。	
3	正義は人それぞれ?	正義とはそもそも何か、「正義の味方」は本当に正義なのか、など。	正義がいくつあるにせよ、それが「みんなの問題」であることを理解する。	
4	人は愛なしには生きられない?	人はいつ・誰(何)を愛するのか、生きるために愛は本当に必要なのか、など。	愛について根本から問い直し、それが「よく生きること」と深い関係にあることを理解する。	
5	自由すぎるのは良くない?	自由とは一体何か、何が自由をもたらし、あるいは自由を阻むのか、など。	自由について根本から問い直し、それが「よく生きること」と深い関係にあることを理解する。	
6	生まれること／死ぬことに良し悪しはあるのか?	生まれてこないほうが良かった、と考える人たち、また、死ぬ権利を求める人たちの主張とはどのようなものか、また、それへの反論は可能か、など。	反出生主義や死ぬ権利など、昨今話題となる諸説の倫理的問題についての理解を深める。	
7	哲学対話をしてみよう	テーマは皆さんの希望から。	いわゆる「安楽死」問題も含めて、人の生き死に関わる選択に含まれる倫理的な問題を理解する。	
8	まとめ	これまでの学習内容を振り返る。	この授業を受ける前と受けた後で、各人の中で何が変わったのか(あるいは、変わらなかったのか)を明らかにする。	
評価方法		平常点(各回の授業への参加度と、授業後に提出するコメントの内容を総合して評価)を80%、最終回の課題(各人による全体のまとめ)への回答内容を20%として評価する。		
課題に対するフィードバック		各回終了時に講義へのコメントを回収し、次回の講義にてフィードバックを行う。また、質問は講義中、講義終了後とも、随時受け付ける。		
教科図書		特に指定せず、自作の資料を使用する。また、ニュース映像やテレビドラマ等、視聴覚資料も一部使用する。		
参考図書		平尾昌宏・著『ふだんづかひの倫理学』晶文社、2019年 その他、授業の中で適宜、紹介する。		
学習の準備		次の回で扱うことを予告した問題について、自分なりに気になる点や主張したい事柄をまとめておく。(180分)		

オフィスアワー	授業の前後、およびメール等、オンラインで相談、質問を受け付ける。
担当教員欄に※印を 附した教員の 実務経 験	